

# 岡崎市中央図書館集中アクセス事件とは

2010年、岡崎市立図書館の蔵書システムにアクセス障害が生じ利用者の男性が逮捕された事件。



# この事件の問題点

- ・ 図書館側の蔵書ソフトウェアに問題があり、事件後に判明
- ・ 逮捕された男性に攻撃の意図はなく、違法の操作もしていない



本当に逮捕する必要があったのか？



## この問題の教訓

- ・ 男性にも図書館にも非はないといえる。
- ・ 情報技術を正しく使っても状況によっては訴えられる可能性がある。
- ・ 情報技術の進歩は早いので常に最新のものにしておかないと不具合が生じる可能性がある。